

## 紹介

# 一般社団法人 「デジタル人材共創連盟」

一般社団法人 デジタル人材共創連盟  
代表理事 鹿野 利春

## 1. はじめに

「情報I」が始まって1年が経った。国立大学協会は、大学入試において「情報I」を入れた6教科8科目の方針を出し、個別入試においても電気通信大学などが情報科の試験実施を表明している。

このような状況で、情報科を担当する先生方の研修、授業支援の重要性は増大している。また、「情報I」で情報デザインやプログラミング、データ活用の楽しさを知った生徒が、課外で取り組むデジタル活動も支援していかなければならない。

そのためには、企業・大学・高専等との協力・連携が必要であり、生徒のモチベーションを高めるための大会の開催、コミュニティの活性化も欠かせない。これらに 대응するために、昨年7月に一般社団法人「デジタル人材共創連盟（以下、デジ連と略す）」を設立した。

## 2. 設立の経緯

デジ連は、2022年3月31日に経済産業省から出された「Society5.0を見据えた中高生等のデジタル関連活動支援の在り方提言」の社会実装を担うものとして設立した。現在、以下の部会を中心に活動を行なっている。

- ・ 学校教育部会 学校側のニーズを把握
- ・ 産業部会 産業界の支援方策を検討
- ・ ガイドライン部会 大会のガイドライン作成
- ・ 広報部会 情報提供、成果報告

## 3. 現在の活動状況

学校等ですぐに活用可能なデジ連の現在の活動

※各ページに表示または記載されている各社の会社名、サービス名及び製品名等は、各社の登録商標または商標です。

小誌バックナンバーは、実教Webサイトの情報科ページ(<https://www.jikkyo.co.jp/highschool/jouhou/>)よりダウンロードできます。

の一部を紹介する。

### 自治体、教育センター、研究会の研修講師派遣

「データ活用について実際に現場で指導している教員の方に事例も含めて教えてほしい」

「企業や大学の方にプログラミングや情報デザインについて研修を行なってほしい」などの要望に、現在のところ自治体などの規定の謝金、旅費の範囲で応えることが可能となっている。同様な形で、授業支援やキャリア教育、課外活動支援も受け付けている。

[https://dle.or.jp/municipality\\_school/](https://dle.or.jp/municipality_school/)

### 会員への情報配信

教員、学生を含めて「一般会員（無料）」として登録していただくことにより、イベントや研修などの情報をメルマガで配信している。企業や学校法人の方は「正会員（有料）」として登録していただき、一緒に事業展開をすることもできる。

<https://dle.or.jp/guidance/>

### 日本中のデジタル系コンテストの一覧

日本全国のデジタル系コンテストの情報を150以上集め、AIやプログラミング、映像などのカテゴリ別に検索可能にした。意欲ある生徒がさらに伸びるための情報として活用してほしい。

<https://dle.or.jp/contests/>

### 「情報II」教員研修用動画

文部科学省が出した「情報II教員研修用教材」の内容を解説した動画を作成した。以下のページの下方に動画へのリンクがある。

<https://dle.or.jp/>

## 4. 今後に向けて

プログラミングやメディア・アートの全国大会の開催、企業・大学・高専等と自治体や学校の連携促進などを行っていく予定である。現場や自治体、企業・大学・高専等から、「デジ連に言えばなんとかなる」といった頼れる存在になりたいと思っている。